



11月14日は
世界糖尿病デー

減らさんで、糖尿病 2020

新型コロナウイルス感染症と糖尿病

徳島大学先端酵素学研究所糖尿病臨床・研究開発センター
センター長・教授 松久 宗英

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)のパンデミックに対し、収束への糸口が見出せない中、糖尿病をもつ多くの方々が感染への恐怖心をもたれていることでしょうか。確かに、SARS-CoV-2より引き起こされる感染症(COVID-19)は、

糖尿病の方はそうでない方と比べ、重症化しやすいと報告されています。COVID-19の重症化リスクは糖尿病とともに高齢、高血圧、肥満、慢性閉塞性肺疾患(COPD)や腎機能障害などが知られています。糖尿病の方は、これらの疾患を複数あわせ持つことも多いため、ご自身のリスクをよく知り、感染対策が必要で、特に、入院中の血糖コントロールが悪いと重症化リスクが高まります。このため、普段から運動や食事、服薬を正しく続け、良好な血糖管理を行ってください。

一方、COVID-19の感染には、糖尿病の有無は影響しないとされます。このため、

マスク、手洗い、うがいといった感染対策は万人に共通の有用なものです。お互いにマスクをしていれば、感染者と接触しても、リスクをかなり減らせることが、海外の調査から示されています。

医学の進歩も目覚ましいものがあります。日々明らかにされる正しい事実を知り、恐れず感染対策を行うことが重要です。徳島県糖尿病協会では皆さんの治療と生活の道標として「糖尿病患者さんの感染予防ガイドブック」を作成しています。ホームページでご覧いただけますので、日々の生活の参考にしてください。



徳島県糖尿病協会
<http://tokutokyo.org/>



ナーすだっち